

3M™ オプトレオズ™ 口腔ケア製品

3M™ Optreoz™ Oral Care Products

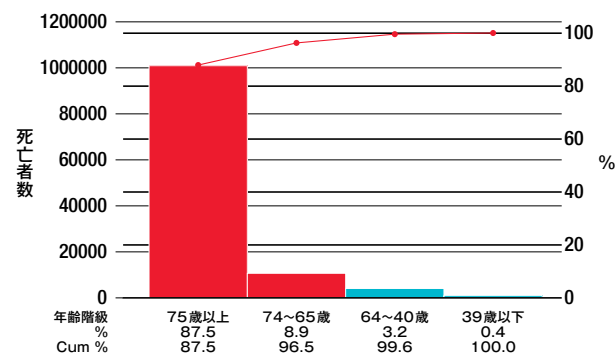
肺炎予防のための 「保湿からはじまる口腔ケア」のご提案

口腔ケアと肺炎

日本における肺炎による死亡者のほとんどは65歳以上の高齢者であり、肺炎は高齢者にとって非常にリスクの高い疾患といえます(図1)。また、人工呼吸器装着中の患者は意識障害や鎮静、麻痺などによる運動機能の低下、脳の障害に伴う嚥下・咳反射の消失、さらに低栄養や易感染状態にあることが多く、高齢者と同様に肺炎予防のための対策が必要となります。

いずれの場合も、口腔・咽頭に定着した細菌が唾液等を介して気管へたれ込むこと(Silent Aspiration)が肺炎の主な発症原因であるといわれており、口腔ケアは、口腔衛生、歯科疾患の予防を目的とした日常のケアから誤嚥性肺炎や人工呼吸器関連肺炎(VAP)の防止など、感染対策としても急速に関心が高まっています。

図1) 年齢階級別の肺炎死者数(平成20年人口動態統計より)



口腔ケアによるたれ込み

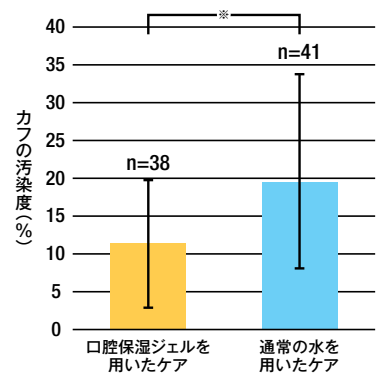
含嗽ができない患者や挿管患者における口腔ケアでは吸引を行いながら水道水等を用いた口腔洗浄を行うことが多いですが、東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座の渡邊裕講師は「水分が口腔ケア時に咽頭に飛散し、たれ込んでいる可能性を否定できない」と指摘します。第37回日本集中治療医学会において同氏は抜管後のカフを歯垢染色剤で染色し、カフの汚染を視覚化する方法を紹介しました(図2)。画像処理ソフトで染色部分の面積比率を算出することでカフの汚染度を定量的に評価することができます。

このカフの汚染度を指標とし、水を用いて口腔清掃を行う通常のケア方法と口腔用保湿ジェルを用いて口腔清掃を行うケア方法を比較した試験において、口腔用保湿ジェルを用いた清掃がカフの汚染を有意に低減したこともあわせて報告されました(図3)。通常の口腔ケアでは汚染された水分が咽頭内へたれ込んでいる可能性を示唆する結果といえます。

図2) 汚染されたカフ



図3) 口腔用保湿ジェルを用いた口腔ケアの効果



清掃用途に適した口腔用保湿ジェル

口腔用保湿ジェルを保湿目的で使用する場合は清掃後の口腔内に仕上げとして塗布されるため回収性は多くの場合問題となりません。しかしながら清掃目的で使用する場合は汚れた口腔内に塗布することになるため汚染物を取り込んだジェルの回収性が重要となります。

動画「保湿からはじまる口腔ケア」

の手順がダウンロードできます

http://www.mmm.co.jp/oral_care/



動画ダウンロード

3M™ オプトレオズ™ 口腔用保湿ジェルは、保湿ジェルを“仕上げの保湿”だけではなく“清掃”にも用いる「保湿からはじまる口腔ケア」のために開発されたコンセプト製品です。清掃用途で用いることを想定した粘度設計が行われているため、塗布しやすく、回収が容易です。また、香料、甘味剤および抗菌成分は添加しておらず80%以上が水分ですので毎日のケアにご使用いただけます。脳の障害に伴う嚥下機能の低下があり誤嚥リスクが高い患者様やカフ上吸引なしの気管チューブを挿管している患者様、何らかの理由により適切な体位がとれない患者様など口腔ケア時のたれ込みリスクが高いシーンでご利用いただければと思います。

3M、Optreoz、オプトレオズは3M社の商標です。

スリーエム ヘルスケア株式会社
医療用製品事業部

〒158-8583
東京都世田谷区玉川台2-33-1
<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan
© 3M 2010. All rights reserved
HPM-000-A (061003) IT

カスタマーコールセンター

製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

ナビダイヤル。市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)
ナビダイヤルが繋がらない場合は、03-3709-8165をご利用ください。

2010年6月発行

